

(仮称)調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業に関する大規模開発事業における土地利用構想説明会
7月10日19:00～20:50【質疑概要】

No.	質問	回答
1	大変すばらしい計画であるが、少々不安がある。運動施設棟が共用施設である場合、過去に他クラブで選手が入浴中に部外者が入り込んだ事例があり、同様のことが起きる懸念があり、不安を感じる。	この施設は、FC東京の練習拠点であるとともに、公園全体の管理運営拠点であり、様々な業務を行う人員を集約している。イベント時の市民利用などについて、今後もFC東京と協議を進める。
2	運動施設棟などFC東京が作って調布に寄付するとのことであるが、FC東京がその施設を使うにあたって、使用料は発生するか。	FC東京が整備した施設は、まず市が寄付を受けることで公共施設とする。そのうえで、FC東京が管理者となる場合も、公共施設利用者としての対応を求める方向で協議していく。
3	初めてこの開発計画を聞いた者にとっては、(本日の資料に)現状の図面がなく比べようがないし、予算計画もない。判断材料が足りない。	留保地は国有地として閉鎖管理されており現状把握は困難だが、市議会でお認めいただいた予算に基づき事業を進めている。樹木については、昨年策定した整備基本計画において、既存樹木の活用を基本方針としており、自然環境調査を実施のうえ、移植や植樹を検討している。
4	現状は緑がいっぱいあり、その現状がどうなるのか本日の資料に記載がない。懸念するのは、環境計画を踏まえているのか、アセスメントはするのかしないのか。気候変動が厳しい時代に、しないという判断できないのでは。	環境基本計画との整合を図りつつ施設整備を検討している。緑化については、自然環境調査を踏まえ基本設計の中で検討を進めている。また、環境保全の観点から周辺環境への影響に十分留意し、緑の機能の維持・代替ができるよう検討している。
5	全体は都市公園で、天然芝グラウンド等は主にFC東京が利用し、その負担割合は今後決定するとされるが、具体的な説明はなかった。施設整備や運営について、市民が意見表明や運営チェックを行う機会は確保されているのか。	本事業は、市とFC東京が公民連携により進めるもので、費用負担は双方の役割や受益を踏まえ決定する。なお、概算事業費は基本設計の中で整理し、内容を示しながら説明していく。
6	今日の説明会で市民の意見を取り入れるのか。現状がわからない中で設計ができていいるのはおかしい話だと思う。土地の1/3を調布市が取得するということだがどれほどの金額になるのか？	この説明会は、条例に基づき、構想・計画段階で地域の皆様に情報提供し、ご意見を伺うために開催している。自然環境調査の結果を踏まえ、樹木の移植等を検討している。土地取得には今年度36億円を予算計上し、国庫補助金の活用に向けて国と協議中である。市への売却は決定しているが、売買は今後見積合わせを経て進められる。
7	小平ではFC東京が独自に公開練習を実施しているが、調布では「見る・応援する」機能を備えた公共施設として整備される予定とのこと。FC東京が調布市の公共施設を利用して練習を行う場合、公開練習の日数は現在より増えるのか伺いたい。	基本的に、土曜が試合の時は火曜日に公開練習を実施し、水曜が試合の時は前日のため公開を控えている。現在の観覧者数は平日約100名、休日200名以上。新練習場では約500名の観覧が可能となり、これまで以上に多くの方を迎えられる環境が整うと考えている。また、平日の公開練習に加え、週末には練習試合も実施しており、今後もこうした機会を通じて皆さんに楽しんでいただきたい。
8	週1回の練習に約50人が来ると聞いている一方、公開練習の日程は不透明で、熱心なファンでなければ見学は難しい。週1回・約50人の来訪でどれほどの経済効果があるのか。	経済効果については、定量的に示すことは難しいと認識しているが、公開練習等により来訪者が増えることで、副次的な経済効果も期待する。また、本施設が、スポーツ施設や自由広場など公園全体が市民や来訪者に親しまれ、憩い・交流の場として活用されることで、人の往来や地域のにぎわい、まちの魅力の向上につながるものと考えている。
9	FC東京のプロチームの練習について、公共施設としてどの程度の公開・市民利用を想定しているのか伺いたい。調布市では公共施設として、いつでも気軽に立ち寄って練習を見学できるような運用を考えているのか。クラブハウスや天然芝グラウンドはFC東京がほぼ専用で利用すると考えられるが、公共施設と位置付ける以上、どの程度の市民利用を条件としているのか。	市民がFC東京の練習などを見る機会が増えることを市としても期待している。どこまで拡大できるかは、今後もFC東京と調整していくことになる。天然芝フィールド内での市民向けの事業も考えていきたい。公共施設という観点からは、天然芝フィールドや建物をFC東京だけが使うのではなく、市民の皆さんにも使っていただく機会を検討していく。
10	施設のターゲットは市民なのか、FC東京サポーターなのか。利用者の動線として、西調布駅利用、車利用、近隣住民の利用のどれを主に想定しているのか。この場所でどのような活用やイベント開催を想定しているのか。	都市公園として整備し、多世代が利用できる公園を目指す。利用人数の想定は困難だが、地域イベント等での活用も含め、今後具体的に検討していく。交通面については、駐車場の確保や交通量調査等により周辺への影響の抑制に努める。西町公園は多くの方に利用いただいており、今後も、運用段階において地域の皆様とコミュニケーションを図りながら、親しまれる公園づくりを進めていく。

(仮称)調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業に関する大規模開発事業における土地利用構想説明会
7月10日19:00～20:50【質疑概要】

No.	質問	回答
11	3月の議会では、土地取得費37億円、整備費を含め総額50億円程度との答弁があった。これらはすべて市民の税金である。一方で、「具体的な負担はこれから話し合う」との説明もあったが、議会答弁と異なるのか。	土地の取得等を除くかなり大まかな金額として、施設整備で100億円。そのうち、市負担は3割、30億円、残りの7割がFC東京の負担。令和8年度の予算として、用地取得で36億円、設計・整地等で4億円、合計で約40億円を計上している。議会での説明と内容は同じである。
12	孫が調布中学校に通っているが、学校からの帰宅時に真っ暗であり、安心して帰ってこられるよう、ぜひ、この場を明るくしてもらいたい。	南側一方通行の堀の一部に歩行空間の整備を想定している。これまで閉鎖されていた場所であったが、市が用地を取得し、公園を整備することで周辺にも明るくなる。地域の安全につながる公園整備を進めていきたい。
13	計画地は飛行場に近く、高さ制限があり、飛行機事故も起きている。そんな場所に都市公園を設置してよいのか。現在、人が立ち入らないので貴重な生態系というものがある。サッカー場などを整備すると、大方の樹木が伐採される懸念がある。調布市はゼロカーボンシティ宣言をしており、CO2削減といった政策との矛盾があるのでは。	調布飛行場の滑走路の延長線上には、建物の高さ制限がある。留保地もこの制限にかかるため、工事期間中も含めて、留意しながら取り組んでいく。樹木の伐採は避けられないが、既存樹木の保存を含め、樹木のCO2吸収量を踏まえ、脱炭素化に取り組む。
14	FC東京が強いチームになることを応援することと、税金を使って練習場を作ることは分けて考えたい。小平の練習場は移転後どうなるのか。	FC東京は小平の練習場をお借りしている立場であり、その後の利用について意見を申し上げる立場にはないが、今後の活用にあたり、クラブとして地域のために貢献できることがあれば、何らかの形で実施していきたい。